

# 鳥取大学大学院医学系研究科の改組による医科学専攻の設置について

医工連携研究センター長 大塚 茂

本校は、平成28年に鳥取大学医学部と包括連携協力に関する協定を締結し、医工連携事業を推進しています。この協定は、双方の専門的な知見・情報の共有や連携により、特に医療福祉分野の研究開発及び医学・工学分野を融合する人材の育成を、地域共同研究と地域協働教育により推進することで、地方創生事業の一翼を担うことを目的に締結したものです。現在は、相互に共同研究やクロスオーバー講義(XO講義)の開講などを拡大・推進することで連携を深めております(詳しくは当センターHPをご参照ください)。

この度、鳥取大学大学院医学系研究科では、現在の生命科学・機能再生医科学・保健学の3専攻を統合し、医科学専攻として令和2年4月より改組が実施されることになりました(医科学専攻の概要:下図参照)。

この改組により、受験科目の見直しや社会人選抜等を通じて、本校専攻科から医科学専攻に進学する途がより拓かれることとなり、本校学生のキャリアパスの多様性や優位性を拡充することが可能となります。

## 大学院医学系研究科の改組による医科学専攻の概要

### 養成する人材像

- 1.基礎医学知識を持ち、医療現場における異分野連携によって、イノベーション創出やバイオサイエンス事業化ができる人材
- 2.人間を深く理解し、健康と福祉のためという確固たる目的をもって研究・開発を行うことができる人材
- 3.基礎医学知識や科学的思考力を持った高度な臨床実践者に加え、地域ネットワーク、包括的地域支援マネージメント等の能力を有する人材
- 4.基礎・先端的医学知識及び科学的思考力を土台とした、基礎医学及び保健学教育・研究者

### 設置の概要

医療の質を向上させ、医療現場のみならず地域社会の健康と福祉の向上に貢献し、社会において先導的な役割を担う人材を養成するため、生命現象を解明し科学的根拠を突き詰める生命科学専攻・機能再生医科学専攻と、人間を理解し健康と福祉に貢献する保健学専攻の3専攻を統合させて、地域を含む医療現場での異分野連携実践的教育を行う。

大学院医学系研究科 (改正前)		(改正後)	
生命科学専攻	: 前期10名、後期 5名	医科学専攻	: 前期35名、後期 8名
機能再生医科学専攻	: 前期11名、後期 7名		
保健学専攻	: 前期14名、後期 4名		
合計	: 前期35名、後期16名	合計	: 前期35名、後期 8名

### カリキュラム

#### 博士前期課程

基礎医学知識、生命・医療倫理、研究倫理、基礎医学概論からなる基盤的教育科目(必修)を土台として、分野横断的科目において分野に共通した知識を修得させ、その上に専門家養成科目を選択できるようにした。



#### 博士後期課程

基礎医学・保健学の教員として共通して身につけるべき先端的医学知識の修得、医科学研究における心と科学の両面の理解、高い倫理観の寛容のための基盤的教育科目(必修)と、医学領域の高度かつ専門的な知識・技術の習得等のためスペシャリスト教育科目、独立して教育・研究ができる能力を育成するアドバンス教育科目を設けている。

